

,

今日の力

編集 岩田欣三

御茶の水キリストの教会

スーザン・K・ギボニー
カリフォルニア州 マリブ

6月9日(火)

し か し , 今

聖書朗読 ヨブ記 42:1~6, 12

私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。
ヨブ 42:5

私はヨブ記を数えきれないほど何回も読みました。実際、私の聖書朗読の予定では、2日間でヨブ記を読み終えるようになっています。今回ヨブ記を読んで、私は以前よりも多くのことを学んだと思います。私はヨブ記を読んだり、聞いたりしましたが、しかし、今、ヨブと同じようにこの目で神様を見ました。

私は神様がヨブを信じていらっしゃることを、この目で見ました。神様は、ヨブが試練と誘惑に耐えることを信じていらっしゃいました。ですから、私は自分がつらいときには、私がこの困難をなんとかやっていけると、神様が私を信頼してくださっているのだと思います。

ヨブと同じように、私も、最初は試練や苦痛、スランプ、屈辱を経験しますが、しかし、最後には神様を本当にこの目で見ることができ、神様に感謝し、より深く理解できるようになります。

私は聞きましたが、しかし、今、私はこの目で神様を見たのです。

神は楽しみにおいて私たちにささやきかけられる。

良心において語られる。

しかし苦痛においては、私たちに向かって激しく呼びかける。

苦痛は、聞こえなくなった世界を呼び覚まそうとする神のメガホンである。

——C・S・ルイス

讃美歌 255

祈り お父様。自分の苦痛を、あなたに感謝していることが信じられませんが、しかし、苦痛はあなたをもっとよく知る助けになります。

イエス様の御名において感謝します。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ

6月10日(水)

ル ー ル

聖書朗読 詩篇 19:7~11

互いに重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。

ガラテヤ 6:2

たいていの人は、規則やルールにそれほどやかましくはありませんが、みんなが従った方がいいと思う規側やルールもあります。たとえば、隣近所が迷惑するような騒音は出さないとか、生徒はカンニングをしないとか、ビジネスはフェアであるべきだとか。

私たちは神様のご命令を古めかしいものとか、十字架に打ち付けられたものと思い、だから自分とは関係ないと思っているかもしれません。だとしたら、神様のご命令は、神様の民を祝福するために与えられ、彼らによりよい人生を与えるものだという、命にかかわる重要なことを逃していることになります。神様のもっとも大いなるご命令は「あなたの神である主を愛せよ。あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」ということにあると、イエス様は集約されました。そして、自分は規則を守らないのに、人には規則を押しつける不正な人や横柄な人を非難されました。

私が子どものころ、父のオフィスにはプロペラの模型がありました。そして、その鉄製の舵にはこう書かれていました。「舵で支配されない者は、岩によって支配される」と。父は青少年会館で若者たちに講演するとき、そう書かれた舵がついているプロペラの模型を持って行ったものです。父が仕事を退職したとき、父は私のオフィスにそれを置くようにとくれました。その言葉は、神様のみこころは岩の上で碎かれることから私たちを救ってくださり、真の正しさである神様に向かって導いてくださることを思い起こさせてくれます。

讃美歌 393

祈り 全能なる神様。みことばはいのちであり、あなたの義は恵みと平安です。今日、愛の律法のうちある、あなたにお従いできるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

アンディ・ウォール
カリフォルニア州 オークパーク

6月11日(木)

私はわざわいを恐れません

聖書朗読 詩篇 23編

たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちと杖、それが私の慰めです。

詩篇 23：4

「我々が恐れなければならないものはただ一つ、恐れそのものだ」(第32代アメリカ合衆国大統領・フランクリン・ルーズベルト)という、よく引用される言葉を思い出してください。恐怖は、私たちの見方を逆転させます。恐怖にかられているときは、すべてのものが真つ暗闇に見えます。しかし、ヨハネは恐怖の解毒剤があると語っています。それは「まったき愛」です。あなたは、どのようにして恐怖を治療する薬を飲みますか？ それは信じることです。神様が私たちを愛してくださり、私たちに必要なものを与えてくださり、守ってくださり、癒してくださることを深く信じることです。それこそが処方箋なのです。

ダビデは「私はわざわいを恐れません」と言いました。ダビデは窮地にありましたが、神様がともにいてくださることを実感していました。ダビデは、よい羊飼いのむちが羊を略奪しようとする者に向けられる力を知っていましたし、羊を守る羊飼いのつえが安心できるものであることを知っていました。

神様があなたのことをご存じでいてくださり、あなたの前を進んで、あなたより先にあなたにとって良いことを見つけてくださると信じることは、歩み続ける自信を与えてくれます。そして、神様はあなたを救い、守り、あなたのために戦ってくださることを経験的に知るとは、自分の置かれている状況を理解できるという平安であなたを満たしてくれます。

讃美歌 303

祈り 父なる神様。私の人生をあなたのお導きとご支配に委ねます。あなたの愛、摂理、守り、気遣いを覚え、信じることができますように助けてください。あなたは私の恐れを癒してください。

イエス様の御名において。アーメン。

エリス・ジョーンズ

カリフォルニア州 シトラスハイツ

6月12日(金)

谷川の鹿

聖書朗読 詩篇 42：6～11

鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。わたしのたましいはあなたを慕いあえぎます。

詩篇 42：1

「鹿のように」という讃美歌が好きです。ある8月の朝、私は小川の流れに立つ雌鹿と2匹の子鹿の写真を撮影しました。その日は特に暑く、乾燥した日でした。鹿の母子は小川を見つけ、渇きと暑さを癒してくれる流れを浴びていました。

詩篇の作者が描く光景の中に、干上がることのない小川を求める、喉が渇いた鹿がいます。同じように、詩篇の作者は、神様と自分のたましいが再び結びつくことを求めてあえぎ、神様がともにいてくださることを実感することを切望しています。彼は過去の礼拝で体験した、浮き立つような喜びを再び求めています。内的なプレッシャーと外的な力が、彼を神様から遠ざけました。人々は「おまえの神はどこにいるのか」と言って、彼を責めます。

それでも、彼は「神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを」と語ります。今の時代において、神様がともにいてくださるという囁きが、微か過ぎて聞こえないと思うなら、神様のうちにこそ、私たちの勝利があることを覚えましょう。その希望をもって、もう少しだけ渇きに耐えてみましょう。やがて雨が降り、小川には水が満ち、そして鹿は渇きを癒します。

讃美歌 鹿のように (または322)

祈り 全能なる神様。あなたが私たちを愛してくださり、気遣ってくださるお父様であることを覚えます。そして、今日、もがき苦しんでいるとき、あなたがともにいてくださることを感じるができるように助けてくださることをお祈りします。

イエス様の御名において。アーメン。

アル・コーネル

ウィスコンシン州 ヒルズボロ

6月13日(土)

夏の霧

聖書朗読 詩篇 96:11~13

主は地の果てから、雲を上らせ、雨のためにいなずまを造り、その倉から風を出される。
詩篇 135:7

それは、どこから立ち上ってきたのでしょうか。霧のような霧のようなものが現れ、向こうの方の高原の上にかかっていた。その美しさに見とれながら、その霧が、後方の腰の高さくらいのトウモロコシ畑の上を這うように越えて、私に向かって静かに漂ってくるのが見えました。気温が下がり、私は両腕で胴体をしっかりと抱え込みながら、震えました。

わずか数秒のうちに、トウモロコシのエメラルド色の茎を吹き抜ける一陣の風が起こり、トウモロコシ畑はリズムカルな波を打って踊りました。トウモロコシの葉は、近づいてくる霧の腹をくすぐりながら、ガサガサと大きな音を立てて鳴りました。湿った空気は、今にも降り出しそうな雨と湿気のにおいがしました。

このようなとき、私は神様のご臨在を覚えます。風によって運ばれた、創造物のざわめきの歌、うっとりするような美しいメロディーは、私のたましいに広がる畏敬と驚嘆の念をもたらします。自然のカラーパレットと大地のピリッとした匂いは、私をへりく다らせ、自分は創造主をお父様とお呼びするに値しない者であることを覚えます。

しかし、全能なる神様、天と地の創造主は、私をご自身の子どもと呼んでくださるほど私を愛してくださいます。神様、私をご自身のかたちに創造されました。そして、私を神様の子どもと呼んでくださいます。そのことを、私は神様に感謝し、それゆえ、私は祝福されるのです。

讃美歌 第二編 161

祈り 全能なる創造主よ。私の目の前にあらわしてくださいます壮大なキャンパスを感謝します。私を取り囲む創造物のうちある、あなたの美を常に見ることができますように。このような壮麗さを目にするとき、あなたが私も創造してください、私たちも同じくらい美しいことを思い起こさせてください。

イエス様の御名においてお祈りします。アーメン。

シェリル・M・ベイカー
インディアナ州 ラパルテ

6月14日(日)

困難なときの避け所

聖書朗読 詩篇 61編

しかし主は、わがとりでとなり、わが神は、わが避け所の岩となりました。

詩篇 94:22

神様は、クリスチャン人生は容易であり、すべてがうまくいくとは約束されません。人生は山あり谷ありの連続です。病気、事故、失業という谷を歩いた経験がありますか？ 老親介護、経済的困難、子どもたちの問題といった谷にいたことはありますか？ みんな、谷を経験しています。何回、経験したか数えてみてください。

重要なことは、谷にいるとき、自分がどちらを向くかということです。暗く、憂鬱な日々を送っているときに、自分を見直す強さを何から引き寄せますか？

ダビデは、人生を山頂と谷の両方から見ること、どのような意味があるかを知っていました。失望のとき、ダビデは神様の方を向きます。

私の心が衰え果てるとき、私は地の果てから、あなたに呼びわります。

どうか、私の及びがたいほど高い岩の上に、私を導いてください。

まことに、あなたは私の避け所、敵に対して強いやぐらです。

詩篇 61:2~3

困難なとき、神様は私たちの安全な場所、避け所、岩です。谷にあるとき、みことばのうちにある慰めとお導きを求め、そして、山頂にあるとき、喜びを求めることができますように。

聖歌 589

祈り 親愛なる主よ。困難なとき、心が疲れているとき、私たちの避け所、岩になってください。あなたから、自分の強さを引き出すことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ローズマリー・マックナイト
テネシー州 ヘンダーソン